

# 創立 89 年 広島国際学院 報

建学の精神  
教育は愛なり

第 100 号

平成 28 年 5 月 1 日発行

特集

100号記念  
広島国際学院  
広報の歩み

情報デザイン学科 第 9 回卒業研究・卒業制作選抜展 展示風景

## 目次

特集 100 号記念・広島国際学院広報の歩み	1・2
夢へとはばたく卒業生たち	2
副理事長・教頭就任挨拶	3
新任教職員挨拶	3
卒業式・入学式	4
研鑽に励んだ日々、花開く 工学部	5
先達の経験も糧に、学業を究める 情報文化学部	6
ともに学び、語り、高め合う 総合教育センター	7
最高の結果を目指して加速 短期大学部	8
高校から発信	9・10
本学院学生・生徒の活躍	11
私の学生生活	12
第 1 回もちつき大会を開催	12
平成 27 年度進路状況	13・14
第 2 回「ベンチマーキング活動」を短大で実施	15
今後の主な行事予定	15

<http://www.hkg.ac.jp>

大学ブログも公開中。あわせてご覧下さい。

特集 100号記念学院広報の歩み

工学部

研鑽に励んだ日々、花開く

情報文化学部

先達の経験も糧に、学業を究める

総合教育センター

ともに学び、語り、高め合う

短期大学部

最高の結果を目指して加速

高校から発信

# 100号記念・広島国際学院広報の歩み

**本** 学院の広報誌である『広島国際学院広報』は、このたび100号という節目を迎えました。学園の発展を記録し発信してきた本誌の歩みをたどります。

## 若い学園だった創刊当時の本学院

**本** 誌の創刊は昭和53年11月にさかのぼります。最初は『広島電機学園広報』という名称で発行されました。当時の法人名が「広島電機学園」、系列校は「広島電機大学」「広島自動車工業短期大学」および「広島電機大学附属高等学校」であり、その事実だけでも本学院の変遷がうかがえます。広島電機大学は設立から12年、自動車短期大学は15年、高等学校は30年という年でした。

## モノクロB5判でスタート、職員向け情報も掲載

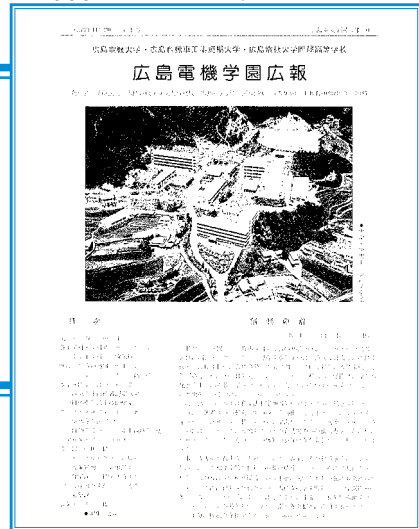
**モ** ノクロで印刷された創刊号には西本五郎理事長(当時)が創刊の辞を寄せ、大学の学科紹介や系列校の就職・進路状況、取得できる資格と試験合格状況、クラブ活動などが紹介されています。巻末には故勝盛豊一初代学長が質問に答える形で、その夏に東欧諸国教育視察団の団長を務めた折のことについて記されています。また、人事異動や職員の慶弔なども掲載されており、職員向けの広報といった機能をも備えていました。なお、現行のA4判と違い、創刊号から第38号(平成9年3月31日発行)までは一回り小さいB5判でした。

## 校史に残る大事業と若さあふれる学生の姿を活写

**昭** 和58年1月に発行された第12号で初めて表紙にカラー印刷が導入されました。お正月号らしく美しい朝日の写真が巻頭を彩っています。その後も体育館や高城館落成、上瀬野キャンパス整備など、学園の歴史的事業がカラー写真で紹介され誌面に華やぎが加わりました。第19号(昭和60年1月発行)には、前年10月の広島カープ日本一優勝に沸く広島の街を練り歩く高城祭市内パレードの様子が1ページの写真特集となっており、生き生きとした学生たちの姿が目にも鮮やかです。

## さらなる誌面充実へ、デザイン系学生が力を発揮

**平** 成11年4月、広島電機大学は工学部に加え現代社会学部を設置した広島国際学院大学として生まれ変わりました。これに伴い法人名は「学校法人広島国際学院」に改称し、同じ月に発行した広報誌も同様に「広島国際学院広報」と名を改め現在に至ります。第40号は広島国際学院大学発足と現代社会学部設置という学園の歴史を刻んだ特集号ともいえるものでした。その後、系列各校も時代に合わせ変遷を遂げました。広報誌は各校の教育研究活動はもちろん、学生や生徒の活躍を紹介することに力を入れています。また、平成27年5月発行の第97号からは、編集に学生も参加するようになりました。情報デザイン学科でデザインを修得した学生スタッフが広報誌のページレイアウトなどに携わり、学んだ知識と技術を活かしてよりよい誌面作りに貢献しています。



創刊号表紙。第38号まではB5判で制作していた



第19号より、カープ日本一の余韻が残る広島で高城祭市内パレードの様



第97号表紙。この号から誌面レイアウトに情報デザイン学科の学生が参加

# 学院広報創刊の思い出

理事長 鶴 素直



**創**刊号制作にあたり、情報の収集や内容の検討のため、系列各校から編集委員を募ることになりました。大学、短大、高校から総勢9人の編集委員が選出され、高校からは当時教頭を務めていた30代の私も豊永

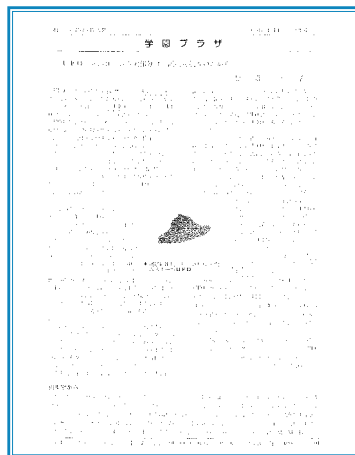
恵三郎先生とともに参加しました。各学校から情報が集まり、12ページで創刊の運びとなりました。

広報の重要性については、故柿本理海先生が特に強く主張されていました。編集において終始リーダーシップを発揮され、横書きによる表記を強く主張されたのも柿本先生です。当時の編集委員のうち、すでに6人の方々が故人となられています。編集委員に加わったことでよかったと思うのは、学園全体の動向

がよく見えるようになったことです。

第2号では高校教諭でいらした加藤一孝氏（現法人評議員）が、当時マスコミをにぎわしていた「UFO」について寄稿されています。

初代学長の故勝盛先生、はつらつと業務をこなされていた西本名誉学院長のお姿も写真に残っており、往時のことが思い出されます。すでにご退職された教職員のご結婚やお子様誕生のニュースも記録され、それぞれのお名前に接しても懐かしく感じます。



第2号より、加藤氏によるエッセイ。「UFOと言われるものの大部分は説明可能」と科学的な考察を求めている

## サクサク！国公立大学の大学院に合格！

境関連の仕事に就きたいと本大学に入学。3年生で水質関係第一種公害防止管理者とバイオ技術者上級試験の難関資格を取得したことも評価され、県立広島大学大学院（総合学術研究科 生命システム科学専攻）に合格しました。

一方藤屋さんは、入学時より高校の教員（理科）を目指していましたが、本大学のバイオ系科目を勉強していくうち生物工学の分野に魅了され、教員になる前により高度な専門知識を得たいと広島大学大学院（生物圏科学研究科 生物機能開発学専攻）を受験し合格しました。両名とも広島国際学院高校出身で、大学入学後も大きく成長しました。高校と大学が連携した教育成果です。



藤屋さん（左）と藤仙さん

藤仙さんは、環境関連の仕事に就きたいと本大学に入学。3年生で水質関係第一種公害防止管理者とバイオ技術者上級試験の難関資格を取得したことも評価され、県立広島大学大学院（総合学術研究科 生命システム科学専攻）に合格しました。

藤屋さんは、環境関連の仕事に就きたいと本大学に入学。3年生で水質関係第一種公害防止管理者とバイオ技術者上級試験の難関資格を取得したことも評価され、県立広島大学大学院（総合学術研究科 生命システム科学専攻）に合格しました。

夢へとはばたく卒業生たち

**総** 合工学科  
バイオ・リサイクル専攻の藤仙克信さんと藤屋昌駿さんが国立大学の大学院に進学します。

## この春も多くの教員が誕生！

**教**

職課程を履修した学生は、毎年全員が教員、大学院、塾を含む企業のいずれかに進んでいます。今年度は公立中学・高校、私立高校に6名が正式採用され、臨時採用者（多くが1~3年で正規採用）3名も教壇に立ちます。授業や部活を通して生徒とともに成長してほしいと思っています。

## 平成28年度に正式採用された卒業生

	氏名	出身高校		氏名	出身高校
公立中	浅井 俊彦	広島県立高陽東高校	公立高	堀 正太郎	広島国際学院高校
	永原 千暁	島根県立隠岐島前高校	私立高	北本 光	広島国際学院高校
	横田 ありす	広島県立西高校		竹丸 秀明	広島県立呉工業高校



# 就任挨拶

## 副理事長就任にあたって

田中満彦

平成 28 年 3 月 25 日に開催されました本法人理事会におきまして、若輩ながら新しく本学院の副理事長に就任いたしました。少子高齢化を迎えているこのご時代に副理事長の職に就くにあたり、その責務の重さを痛感しております。

今、かつて無い速さと規模で社会は変化しております。それぞれの学校には単に教育や研究だけでなく、充実した学校生活、適切な進路への助言や、さらには地域貢献までも求められるようになってきました。しかし時代が変わっても変わらない、常に私学に求められているものがあります。このような私学への需要を念頭に置きながら、本学院の建学の精神である「教育は愛なり」にある通り、学生・生徒たちが健全に学び、また社会に貢献できるような人材に育むことができるよう、責任ある学校法人として改革に取り組みます。これからは、たくさんの方々からさまざまなことを教わりながらではありますが、地に足をつけ、本学院の発展に努める所存です。今後もさらなるご指導ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。



このたび、広島国際学院高等学校教頭を拝命いたしました。私は昨年度まで 5 年間入試広報部長として、本高校の教育を広く認知していただき、安定した生徒募集につなげていくことを目標に精一杯努めさせていただきました。今年度も、定員を上回る新生生の皆さんに入学していただき、本高校教育に対する期待の表れと身の引き締まる思いであります。その期待に応え、これからは学校全体を見渡す立場として、先生方の指導・サポートに力を注ぎ、本高校の発展に寄与できるよう努めてまいります。良き伝統を継承しつつ、新たな魅力ある取り組みを行い、

生徒の笑顔あふれる活気のある学校を目指してまいります。戸惑うことも多く、まだまだ力足らずではございますが全力を尽くす所存でございます。今後とも、皆様のご支援をよろしくお願い申し上げます。

## 教頭就任にあたって

岡田隆治

## 「はじめまして よろしく」 新任教職員挨拶



かわぐち  
りつこ  
川口淑子  
総合教育センター  
准教授

今年度より大学の総合教育センターに勤務し英語の授業を担当いたします。どうぞよろしくお願いいたします。



まさ  
ひかる  
政光  
自動車工業科助教

皆さんとのコミュニケーションを通じて理解しやすい授業をしていきたいと思っております。よろしくお願いいたします。



おきもと  
けいこ  
沖本敬子  
高校教諭・商業

資格取得に力を入れ、生徒一人ひとりが自信を持ち進路を実現できるよう頑張ります。よろしくお願いいたします。



たかみ  
なおき  
高見直樹  
高校教諭・数学

初心を忘れず、生徒の進路実現を最優先に取り組んでいきます。ご指導ご鞭撻のほどよろしくお願いいたします。



しんもと  
こうじ  
新本光治  
大学事務部庶務課長

今年度よりお世話になります。皆さんが今後も有意義な大学生活が送れますよう頑張りますので、よろしくお願いいたします。



おかだ  
ひでみ  
岡田秀海  
短大就職担当課長

学生の皆さんにとっても重要な進路の選択およびその実現のために、全力を尽くします。よろしくお願いいたします。



あきた  
さわこ  
芥川沙織  
高校事務室職員

一つひとつ丁寧で確実な仕事をしたいと考えています。ご指導ご鞭撻いただけますようよろしくお願いいたします。

## 卒業式（大学・短期大学）



学長賞を受賞した田中さん（左）と松本さん

前日までの雨も小止みとなった3月19日、平成27年度大学・短期大学合同卒業証書・学位記

授与式を挙行了しました。

李木経孝学長は式辞で「日本は単に製品を作るだけでなく、金融、小売り、物流などさまざまな業界の知恵や、品質を維持管理するための点検・整備・修理といったサービスを含めた総合力でものづくり大国として飛躍を遂げ、困難を乗り越えてきました。これから社会人となる皆さんも周囲と協力し、一緒に逆境を乗り越えることができるよい人間関係を築いて人生を歩んでください」と卒業生にはなむけの言葉を贈りました。

今年度の学長賞は情報デザイン学部の松本佳奈さん（広陵高校出身）と現代社会学部の田中和也さん（徳山高校出身）に授与されました。

## 卒業式（高校）



森崎校長による卒業証書授与

別れの寂しさを一層深めるかのような小雪舞う寒さとなった3月1日、第67回卒業証書授与

式を挙行了しました。平日にもかかわらず列席いただいた多くの来賓、保護者の方々の温かい眼差しの中、厳粛な雰囲気では進行しました。卒業生454名を代表して松下翔さん（幟町中学校出身）が答辞を述べ、58名の皆勤者が表彰されました。

式後のホームルームでは、各担任がそれぞれ趣向を凝らし、思い思いに最後のメッセージを生徒たちに伝えていました。目に涙を浮かべる生徒も多かったです。

本校生徒として最後の校門をくぐる生徒たちの顔は晴れ晴れとしており、未来を見つめる瞳は輝いていました。

## 入学式（大学・短期大学）



式辞で新生に大人としての自覚を促した李木学長

穏やかな日差しに満開の桜が鮮やかな4月5日、平成28年度大学・短期大学合同入学宣誓式を執り行いま

した。李木経孝学長の入学許可宣言に続いて新入生代表が登場し、力強く宣誓しました。

李木学長は式辞で「今年6月から公職選挙法が改正され、18歳以上の国民は選挙権を持つこととなります。皆さんは社会では大人として認められつつある年齢に達しようとしているのです。本学で過ごす2年間または4年間をやがて卒業して社会へ出るための準備期間と位置づけ、大人の社会へ踏み出してください」と新入生を激励しました。

式の後、恒例の入学祝賀茶会が催されました。心配された雨も上がり久々の好天の下、訪れる新入生や保護者たちも晴れやかな表情でお茶を楽しみました。

## 入学式（高校）



大勢の新入生を迎えた入学式

4月8日、第70回入学式を挙行了しました。前日には新入生の先輩にあたる在校生の手により、

入学式の準備が進められました。後輩を歓迎したい在校生の思いが届いたのか、心配されていた天気も回復し、晴天のもとでの入学式となりました。

今年度は487名の新入生を迎えました。新品の制服を身にまとった新入生は当日の天気と同様、晴れやかで初々しく、とても凛々しく感じられました。式典は厳粛な雰囲気のもと執り行われ、森崎恒夫校長は「感動と学びのある学校生活を過ごしてほしい」と新入生を激励しました。

吹奏楽部の演奏とともに生徒の顔も徐々に明るくなり、新入生は3年間の高校生活を実りあるものにする決意を固めているようでした。



## 卒業生による特別講演会開催



講演後、学生たちとの質疑応答

本大学工学部総合工学科電気システム専攻を平成27年3月に卒業し、株式会社協和エクシオに入社した澤田崇史様による特別講演会が1月26日に工学部生産工学科3年生を対象に行われました。澤田様に加え、同社人事部の太田寛様も応援に駆けつけていただき、講演会をより充実したものにしてくださいました。参加した学生たちは最初に太田様による

企業活動と社会貢献に関する講演を聞き、会社の企業活動やそれが社会貢献に結びついていることに対して理解を深めることができました。さらに、卒業生の澤田様による講演では、自身の学生時代の経験や入社後の体験談なども話され、学生たちは年齢の近い先輩の体験や経験を親近感を持って聞き入っていました。そのため、その後の質疑応答でも学生たちから様々な質問がなされ、充実した講演会となりました。

## 平成27年度卒業研究発表



対向配置α形スターリングエンジン

総合工学科(現「生産工学科」)平成27年度の卒業研究発表が2月中旬に各研究室で行われました。

機械システム専攻の卒業生は「自動車用低炭素鋼板の高強度化に関する研究」「超高純度アルミニウムを用いたAl-Sc合金の製作」「CAEによる機械部品切欠き部の応力解析」「対向配置

α形スターリングエンジンの設計」など、非常に高度な知識を要する研究から発想力を重視する萌芽的研究まで、それぞれの研究成果を披露しました。

また電気システム専攻も「マイコンを用いた4足歩行ロボットの製作」や「ラジコンの受信機製作」「PICと赤外線モジュールを用いたモータの遠隔制御」など、1年間挑戦し続けた結果を発表しました。

PICK UP!

## 資格にチャレンジ

食農バイオ・リサイクル学科では、所定の単位を取得することで得ることができ、教員免許や食品衛生管理者以外にも、学生たちのキャリアアップのため、さまざまな資格の取得を支援しています。平成27年度は、難関の上級バイオ技術者認定試験に、4年の西山裕理子さん(美鈴が丘高校出身)と古川雄也さん(島根県立平田高校出身、12ページに関連記事)の2人が合格しました。さらに、中級バイオ技術者認定試験でも4年の築地新裕太さん(安芸南高校出身)、3年の永井雅紘さん(海田高校出身)、西原大樹さん(美鈴が丘高校出身)、橋本庄さん



中級バイオ技術者認定試験合格者(左から築地新さん、北条さん、永井さん、橋本さん、西原さん)

(広島国際学院高校出身)、北条愛実さん(美鈴が丘高校出身)の5人が合格しました。バイオ技術者認定試験は、バイオ技術に関する豊富な知識を習得していることが客観的に評価される資格です。「ためだと思っていたが合格して良かった」「自信ができました」など合格した学生たちはみんな喜んでいました。この資格の取得支援としてカリキュラム外で対策講座を行っています。この講座のおかげで合格できました」という声もありました。その他にも工学部ブログに掲載されているように、一般毒劇物取扱者に4年の木村優花さん(玉野高校出身)と石丸匠さん(広島国際学院高校出身)の2人が合格しました。さらに3年の木村早紀さん(西条農業高校出身)、永井さん、西原さんの3人が環境社会検定(eco検定)に合格しています。危険物取扱者の資格を取得した学生もいます。工学部には資格1、11という授業科目があり、資格を取得した学生は単位が認定されます。このように本学では学生が活躍できるための教育やさまざまな支援を行っています。

## 情報文化学部

### 第9回卒業研究・卒業制作選抜展

2月20～22日の3日間、アステールプラザ市民ギャラリーにて選抜展を開催しました。情報デザイン学科の学生は、4年間を通じて映像やCGなどの表現技術、プログラミングをはじめとする情報技術、メディアリテラシー、コミュニケーション能力を磨いております。今回の選抜展でも、これらの学習成果を遺憾なく発揮したユニークな作品や研究が展示されました。22日には、愛知県立芸術大学教授の関口敦仁先生をお招きし、メディア

アートに関して講演いただきました。この選抜展の準備を9月から進めてきた4年生選抜委員のみなさん、お疲れ様でした&ありがとうございました。最後になりますが、ご来場いただいた多くの皆様、ありがとうございました。



卒業研究・制作選抜展

### 卒業生グラフィックデザイナー特別講義



多くの事例を示し講義する矢尾さん

1月8日、情報デザイン学科2期卒業生でグラフィックデザイナーの矢尾俊祐さんをお招きし、3年生を対象とした特別講義を実施しました。

矢尾さんは現在、東京の株式会社ニコー印刷に勤務し、本部企画チームでグラフィックデザインを担当しております。

本大学デッサン室での講演で矢尾さんは、グラフィックデザインの仕事、向き合い方、社会人になられてからのご経験から大学時代にしておいたほうがよかったと思うことなど、丁寧にお話ししてくださいました。多くの事例を見せていただきながら講義を受け、学生は講義後も熱心にグラフィックデザイナーの仕事について質問をし、時間ぎりぎりまで話は尽きませんでした。

### 少年に温かい食事と居場所を — 「食べて語ろう会」 主催による講義 —

2月1日「高齢者に対する支援と介護保険制度」および「ボランティアとNPOの社会学」の講義に、外部講師がお見えになりました。真言宗大谷派・円光寺からご住職の谷川修真氏と、「食べて語ろう会」を主催する元広島市保護司の中本忠子氏のお二人です。中本さんは通称「ばっちゃん」と呼ばれ、これまで35年ものあいだ保護観察中の少年たちを毎日自宅に呼び、無償で食事を提供してきました。

犯罪を犯した少年や、親に十分に食事を与えてもらえない少年たちを家に迎え入れ、食事と居場所を提供



中本さん(右)の話に聞き入る学生たち

してきました。学生は皆、真剣に中本さんの話を聞いていました。

PICK UP!

### 由宇とまとプロジェクト



赤いシリーズ再び? トマトとカーブを活用した新商品開発のため、由宇球場で動向調査する学生

現代社会学科では、ゼミ活動の一環として一昨年度より「大学生等による地域づくり支援活動研究報告会(やまぐち中山間地元気創出応援事業)」に参加し、「由宇とまとを活用した地域活性化事業」に取り組んでいます。2年目の昨年度は、「広島東洋カープ由宇練習場と由宇とまとを活用した地域活性化事業」を活動テーマに地元名産「由宇とまと」を使った新商品開発に取り組みました。岩国市の由宇球場を訪れ、既に販売されている商品の種類や価格や顧客の動向調査を行い、ゼミでの検討を重ね数点の商品企画の提案を行いました。カープ人気にあやかっ、二軍の試合でも、由宇球場には毎試合数百名の観客が集まります。そこで、学生のアイデアから生まれた新商品が発売される日も近いと思います。

先達の経験も糧に、学業を究める

# 総合教育センター

## 留学生ポスターセッション—日本語科目「日本事情Ⅱ」—



留学生ポスターセッション

留学生が日本語を学ぶ科目「日本事情Ⅱ」では、1月21日と26日にポスターセッションを行いました。学生一人ひとりが日本での生活で疑問に思った点について身近な日本人にインタビューを行い、その結果をまとめて発表しました。

テーマは、日本人の家族間の関係・電車のマナー・食文化・結婚観・礼儀など多岐にわたり、どれも興味深いものでした。発表会では緊張しつつも、練習の成果を発揮できたようです。留学生といっても背景となる文化はさまざま。教室のあちこちで盛んな質疑応答や意見交換が行われていました。

## 事前教育スクーリング

12月24日、12月までに入学の確定した皆さんを対象に、事前教育スクーリングを開催しました。本大学では早期に入学の決まった皆さんが4月により良いスタートを切れるように、通信添削と大学からのメッセージの送付を「事前教育」として実施しています。

スタートにあたり大学で開催されたスクーリングでは、各学科の教員も加わって通信添削で行われる基礎科

目の受講の説明などが行われました。

皆さん、最初の問題を解きながら受講方法を確認し、4月からの大学生活に向けて気持ちを新たにしたいと思います。



事前教育スクーリング

## 導入教育プログラム「自己の探求」実施—新入生の絆深まる—



意見を交わし相互理解を深める新入生

入学式直前の4月3日から2日間、本大学新入生が導入教育プログラム「自己の探求」を受講しました。第1日目は、学科ごとのグループ分けに始まり、相互認識を深める対話、合意形成の体験な

どを行いました。第2日目は、各自の価値観や意見などを持ち寄って話し合い、自己と他者への理解をさらに深めました。最後には、相互の印象や助言の交換も行いました。クラスメイトとなる新入生同士、初めての顔合わせとなりましたが、2日間のグループ活動を通じて、同級生としての絆を早くも深めることができました。

## 「生涯スポーツ B (スノーボード実習)」

2月16日～19日まで鳥取県だいせんホワイトリゾートにて行われました。54名の履修学生は、レベル別班に分かれ、4日間の実習に挑みました。スノーボードが初めての学生もベテラン指導者の下、めきめきと上達し、最終日には、山頂からの上級者コースも難なく滑ることができる技術を習得いたしました。実習中は、好天に恵まれ、日本海の景色を堪能しながら雪山でのスポーツの醍醐味を満喫し、スノーボードの虜になってくれたものと思います。



山頂にて

これらの体験が、今後の学生生活をより豊かなものにし、人間的に強くたくましく、さらにはリーダーシップを醸成するきっかけになってくれることを期待しています。また、スポーツの趣味として生涯定着することになれば幸いです。

### PICK UP!

## 異文化体験Ⅱ



ロタプレーの海でスキューバダイビング

今回の、世界的に有名な透明度を誇るロタプレーの海でのスクーバダイビングを堪能し、サイパンではバンサイクリフ等の戦跡を見学し、日本の悲惨な歴史を学びました。さらに、グアムでは日本から一番近いマリナーリゾートの繁栄ぶりを体験し、大いに考えさせられる旅となりました。

12月4日～13日まで、学生10名を引率し、北マリアナ諸島ロタ、サイパンおよび米領グアムに9泊10日の日程でダイビングツアーに出かけました。この授業は、早い時期に異文化に触れることで、自分のおかれている環境を客観的に見つめなおし、その後の学生生活をより価値あるものにしてもらいたいという趣旨で毎年行われています。

ともに学び、語り、高め合う



## 短期大学部



話し合いながら模擬試験の問題を解く学生たち

平成27年度第2回自動車整備士登録試験（平成28年3月20日実施）の合格発表が行われました。今年は卒業式翌日の試験で、学生達は卒業の感動もそこそこに試験に臨み頑張りましたが、次表に示すとおり残念な結果となりました。

2級整備士を目指す自動車工業科は、昨年の10月から卒業式前日までの長い講習に学生も真剣に取り組み、登録試験合格を目指して学生教員一体で日夜努力しましたが、あと一步届きませんでした。

1級整備士を目指す専攻科については、何回も教科書

## 自動車整備士登録試験結果

	卒業者数	受験者数	合格者数	合格率	全国合格率 (参考)
1級小型(筆記試験)	4名	4名	2名	50%	(37.7%)
2級ガソリン	74名	63名	59名	93.7%	(77.5%)
2級ジーゼル		29名	28名	96.6%	(91.6%)

を読み直し、教科書の内容をお互いに解説しあうことで、全体のレベルの向上を図って行きました。しかし、結果は2名の学生があと1点足りない残念なものでした。しかしながら、今回勉強したことや、努力した過程、そしてなによりも友達と切磋琢磨しあえた経験は、今後必ず彼らの糧になるでしょう。登録試験後の卒業記念パーティでは、試験を終えた安堵と卒業する寂しさのなか、楽しい時間を過ごし、学び舎を旅立ちました。

## 教育方針説明会



教育方針説明会

4月5日に大学・短大合同の入学宣誓式の後、短期大学部の教育方針説明会が行われました。

初めに、保護者の皆様に短大後援会の役割と活動への協力依頼が行われました。

次に知名短期大学部長が本学の建学の精神、教育目標、入学者受け入れ方針、教育課程編成・実施の方針、学位授与の方針など大学の教育体制の説明や楽しい学

生生活を送る上での注意点、進級・卒業の要件、整備士資格取得状況や1年生のチューターの紹介などがあり、引き続き就職委員長の濱谷先生から、就職活動の厳しさ等について詳しい説明がありました。

その後、保健室の役割や入学後に行われる健康診断などの内容を担当の木村さんに説明してもらいました。

これからの学生生活を有意義に送るための大切な説明であり、皆さん熱心に聞いておられました。

これからの新しい生活に向かって、元気に張り切って行きましょう。

最高の結果を目指して加速

PICK UP!

## 企業研究会を進路の決め手に —合同企業研究会(学内)の開催—

この研究会を企業選びの参考にする学生も多く、次年度も就職率100%間違いなしだと思います。



合同企業研究会

1月14〜15日、合同企業研究会を実施しました。昨年度からの就職支援授業の総まとめとなるこの研究会は、昨年夏から学生が会社に出向き「個別企業研究」を行った結果を踏まえ、各自の研究テーマに沿った課題に企業が応える形で行います。両日併せて55社(自動車メーカー2社、ディーラー32社、一般整備9社、自動車用品2社、一般企業4社、損保3社、公益3法人)の参加を得ました。

学生たちは企業の福利厚生、社員教育制度、会社の将来像、転勤の有無、離職率、採用試験情報など、将来を考え真剣な様子で質問していました。一方企業担当者は自社の特徴のほか、高いコミュニケーション能力や電気関係の技術に優れているなど、求める人材について熱心話していたのが印象的でした。

研究会終了後も多くの学生が企業との意見交換を求め、企業の方々も手応えを感じていましたようでした。

### 韓国・フィリピンから短期留学生が来ました



ユン君とマイアさんはとても仲良しでした

1月25日～2月13日の3週間、韓国からユン君、フィリピンからマイアさんが、本高校に短期留学生としてやって来ました。

ユン君はS1-1組に、マイアさんはG1-7組に所属し、生徒たちと授業を受け、マラソン大会でも完走しました。日本語の授業も4回受け、最後に色紙を仕上げました。マイアさんはホストファミリーの家がある呉の街を描き、ユン君は日韓の友情を川柳にしたためました。

#### マイアさんのホストマザー 高田さおりさん

今回初めてホストファミリーに挑戦しました。マイアは人懐こくすぐに打ち解け、一緒に料理をするなど楽しく過ごしました。たった3週間でしたが誰もができない良い経験をさせていただいたと思います。お別れの時は我が子と別れるようで号泣してしまいました。

#### ユン君のホストマザー 山重 富美子さん

ユン君は初日こそ緊張した様子でしたがすぐに慣れ、母国のことをたくさん話してくれました。友達に広島弁を教わるなど、学校での様子を聞くのも楽しみにしていたので、帰国後しばらくは寂しかったですね。初めてのホストファミリーは貴重な体験となりました。

## ホストファミリー募集



7月、カナダのレスリング専門部のチームが3泊4日の予定で来校します。滞在時のホストファミリーを募集します。  
詳しいことが知りたい方は、国際交流課までお知らせください。

**期間：2016年7月11日(月)～14日(木)**  
**選手：男女計12名**



## マラソン大会



快晴の下、力走する生徒たち

2月11日、恒例のマラソン大会が行われました。当日は汗ばむほどの陽気となり、快晴の中での開催となりました。インフルエンザの大流行による影響が心配されましたが無事開催され、参加者は男子9キロ、女子4.5キロの長距離コースを全員が力強く走りぬいてくれました。陸上競技部の2・3年生と、体調不良のため残念ながら見学となった生徒は大会補助員として活躍し、スムーズな大会運営ができました。

1年生は初めてのマラソン大会でしたが、先輩に「海沿いを走るのは気持ちが良いよ」とアドバイスされ、緊張した面持ちの中にも楽しげな表情が見られました。また2年生にとっては2度目の大会、「絶対に負けられない」といった強い思いを抱いての参加者が多くいたようです。負けないと決意しスタートした2年生のレースはすばらしく、特にゴールは感動的で男女とも激しいデットヒートが繰り広げられました。

閉会式では入賞者の紹介に続き、2名の留学生の挨拶がありました。2人とも3週間の留學生活の感想を述べ、お別れの挨拶をしてくださいました。たくさんの生徒や教職員の前でのスピーチは堂々としており、流暢な日本語に校医の深坂先生も感心しておられました。日々の練習の成果が発揮されたすばらしい大会となりました。次回も生徒全員が成長した自分を確認できるよう頑張ってもらいたいと思います。

## 入学試験



新入生登校日

2月3日に推薦入試、2月18～19日に一般入試を実施しました。推薦入試165名、一般入試1,328名、総計1,493名という多くの中学生が本高校の受験に臨みました。ともに予定時間を変更することなく、試験は順調に執り行われました。

また、入試の結果本高校に入学する運びとなった中学生は、保護者の方々と共に3月23日に行われた新入生登校日に参加しました。みな緊張した面持ちで制服や学用品などの購入を行いました。本高校に入学される皆さんには、夢と希望をもった3年間の学校生活を送ってほしいと思います。

## 広島大学合格への道のり

塩崎 夏実 (平成28年3月普通科卒業 観音中学校出身)

私は広島大学教育学部に合格しました。教員採用実績が西日本トップクラスで、実習や講義が充実していることは教員を目指す私には魅力的だったため同学部を目指しました。

中学校の頃から広島大学に行きたいと思い、本高校特進コースへの進学を決めました。最終的に学部学科を決め、本格的に受験勉強を始めたのは高校2年次の頃です。

バスケットボール部を3年生の6月で引退するまで、家庭学習の時間を確保することが難しかったのですが、授業に集中し休憩時間などを利用して課題を終わらせるよう努力しました。朝早く登校し、学習室で勉強して教室に入るなど時間の使い方を意識しました。

センター試験の対策は基本的には学校の教材や課題だけで十分だと思えます。1年次の時から学んできたものをくり返し暗記したり解き直しをしたりすることが大切です。それでも足りない教科や分野の参考書を購入しました。参考書選びのポイントは自分の直感を信じてことです。自分の目で見て選ぶことが大切だと思います。2次試験の受験科目は国語と英語でした。本高校は広島大学の対策が充実しているため、補習に参加し多くの問題を解くことが一番です。赤本を利用し過去問を4年分解きました。塾には通っていません。学校の勉強だけで十分です。合格の決め手は「限られた時間」を有効に使ったことです。

受験までの日数は限られているので、どれだけ質のよい勉強ができるかがカギとなると思います。

## 「こころの教育」講演 —アナウンサーに学ぶ言葉の大切さ—

3月17日、ホームテレビアナウンサー栄真樹さんをお招きし、1・2年生を対象に言葉の大切さについて講演いただきました。

近年、携帯電話の普及により、メール・LINEなどで言葉は簡単に伝えられます。しかし簡単な反面、自分の本意が伝わらなかったり、誤解が生じたりしています。

日々使う言葉の意味を考えると人への優しさにつながる大切さなど伺い、またプロとして「視聴者に伝える言葉の難しさ」を学びました。

講演後に記した感想の中で、普通科の若狭陸志君(翠町中学校出身)は「アナウンサーが与える影響力、言葉の大切さなど役に立ついい話を聴くことができました」と述べています。

日々使う言葉の大切さや表現の力を感じ、今後様々な人と出会う中、自分がどう接すればいいのか考える授業ではなかったかと思われま



プロとして言葉の大切さを説いた栄さん



# 広島国際学院レポート

【大学・短大】平成27年度部活動成績

サークル名	受賞者	出場大会名	成績
アーチェリー	岡崎 芽衣 (3年 安芸南高校出身)	第35回中国四国学生フィールド選手権大会	2位
		平成27年度中国地区アーチェリー選手権大会	5位
	山光 祥平 (3年 広島県立吉田高校出身)	第26回西日本大会選考会	7位
	田向 弘樹 (2年 広島工業高校(県立)出身)	第20回中国四国学生室内アーチェリー個人選手権	4位
	西村 千晶 (3年 遼摩高校出身)	第70回国民体育大会島根県予選大会	1位
	松本 拓馬 (3年 松江工業高校出身)	第70回国民体育大会島根県予選大会	5位
	団体	第45回中国四国学生アーチェリー王座決定戦	2位

## 高校・金谷拓実さん連覇

### 全国高等学校ゴルフ選手権春季大会

3月23～25日に滋賀県の瀬田ゴルフコースにて行われた全国高等学校ゴルフ選手権春季大会で、普通科の金谷拓実さん(昭和北中学校出身)が2連覇の快挙を成し遂げました。



2連覇を喜ぶ金谷さん(中央)

本学院学生・生徒の活躍

【高校】平成27年度部活動成績

部名	受賞者	大会名	成績
ゴルフ	団体	平成27年度全国高等学校ゴルフ選手権大会(男子団体)	1位
	田辺 ひかり (3年 駅家南中学校出身)	平成27年度全国高等学校ゴルフ選手権大会(女子)	3位
	金谷 拓実 (2年 昭和北中学校出身)	第100回日本アマチュアゴルフ選手権競技大会	1位
	関藤 直熙 (3年 駅家中学校出身)	平成27年度全国高等学校ゴルフ選手権大会中国予選(男子)	2位
	関藤 侑嗣 (1年 駅家中学校出身)	平成27年度全国高等学校ゴルフ選手権大会中国予選(男子)	4位
	藪下 真衣 (2年 大柿中学校出身)	平成27年度全国高等学校ゴルフ選手権大会中国予選(女子)	2位
	香川 ちよみ (2年 可部中学校出身)	第33回中国ジュニアゴルフ選手権・新人戦	1位
レスリング	向井 識起 (1年 仁保中学校出身)	平成27年度第31回中国高等学校選抜レスリング大会	1位
	太尾田 睦 (2年 府中緑ヶ丘中学校出身)	平成27年度第31回中国高等学校選抜レスリング大会	5位
陸上	団体	第57回中国高等学校駅伝競走大会(男子総合)	5位
	北村 直大 (3年 大州中学校出身)	第68回中国高等学校陸上競技対校選手権大会兼全国大会中国地区予選会	7位
自転車	中村 圭佑 (2年 楠那中学校出身)	平成27年度中国地域高等学校対抗自転車道路競走大会	8位
硬式野球	団体	平成27年度秋季広島県高等学校野球大会	1位
柔道	団体	第16回中国高等学校柔道新人大会(女子の部)	3位
バトン トワーリング	豊嶋 彩夏 (3年 戸坂中学校出身)	第8回WBTFインターナショナルカップ	4位
書道	宮本 祥江 (2年 吉浦中学校出身)	第67回全国学生書道展	A賞
吹奏楽	団体	平成27年度広島県高等学校総合文化祭吹奏楽部門	県代表



合格証を手にする古川さんと、同じく上級バイオ技術者認定試験に合格した西山裕理子さん(美鈴が丘高校出身)

## 日々の積み重ねで難関資格に合格

食農バイオ・リサイクル学科4年 古川雄也(島根県立平田高校出身)

私の所属する食農バイオ・リサイクル学科では、食品・農業関係といった様々な分野を幅広く学ぶことができます。本学で定められた単位を修得することで、理科教員免許(中・高)と食品衛生管理者が取得可能です。また、化学・環境・バイオ系の授業を履修することで危険物取扱者(乙・甲種)といったあらゆる資格試験にチャレンジできるのが特徴的な学科のひとつです。その中でも私は農業分野にもっとも興味を持ち、毎日勉学に励んでおり、興味のある授業を中心に履修し知識を広げていま

### 私の学生生活

す。資格試験にも力を入れ、毎年一回実施されるバイオ技術者認定試験を受け、大学2年時には中級、3年時には上級を取得しました。毎日、過去問を中心に解き、わからないところは参考書等で、自分の納得いくまで繰り返し練習することで知識を向上させ、資格取得することができたのです。何度も挫折しそうになりましたが、毎日積み重ねることで、必ず結果はついてくると自分に言い聞かせ勉学に励んだおかげで資格取得につながりました。今後も、資格試験に積極的に取り組んでいきたいと考えています。また、ここで得た経験は今後の学生生活でも大いに役立つと思うので、残りの学生生活をいろいろな経験をして楽しく過ごし、今後も引き続き新しい目標に向かって日々頑張りたいと思っています。

PICK UP!

## 伝統文化を通し学生も地域も笑顔に

### 第1回もちつき大会を開催

総合工学科 平成28年3月卒業 吉野綾子(広島皆実高校出身)

しかし、今年度からの初めての行事ということもあり、予想以上に準備に時間がかかってしまいました。企画通り開催できなかった不安になったこともありましたが、当日は天候にも恵まれ、「もちつき」という伝統文化を通して地域の子どもやお年寄りなどのたくさん笑顔を見ることができました。いろいろ大変なこともありま



地域の方と学生たちの笑顔が広がったもちつき大会

1月9日に、JR中野東駅ロビーにて「第1回もちつき大会」を行いました。

このもちつき大会は、本大学が締結している安芸太田町や安芸区との地域連携協定を活用して学生と地域の方が交流することや、留学生が日本の伝統文化に触れることができるような行事はできないかと思ひ企画しました。

したが、今回の活動を通して本学と地域が今後も連携していけるきっかけを作ることができ、とても良い機会となったと思います。「もちつき大会」を実施するにあたっては、地域の方ももちろん李木学長や学生支援課、地域連携センターの職員の方など多くの教職員の方に協力・支援をいただきました。そして当日の準備や片づけには、学友会役員だけでなく、もちつき大会に参加した学生が積極的に協力してくれました。最後になりましたが、この紙面をお借りしてお礼を申し上げます。ありがとうございます。

今回の経験を活かし、この「もちつき大会」が来年、再来年…と続き、これから先も本大学と地域の方とを繋ぐ架け橋となることを願っています。



地域の方に教えてもらいながら真剣な表情でつきあがったおもちを整形する学生

# 平成27年度進路状況

## 平成27年度 広島国際学院大学進路状況

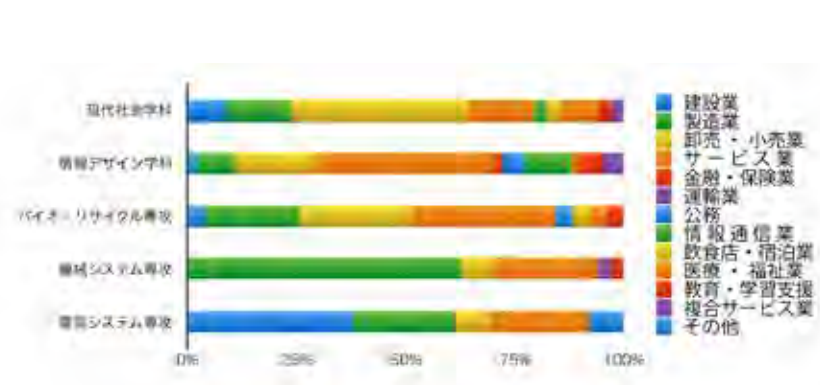
平成28年3月31日現在

- ・ ビジネスシーンに必要な「社会人基礎力」および各分野に特化した専門知識の習得を基本とし、特に「豊かな人間性を兼ね備えた人材」を社会に送り出すべく、学生の育成に努めています。
- ・ これまでの本学卒業生の実社会での活躍が評価され、今年度は学生1人当たり約40倍の求人倍率を得て、高い就職率を達成しています。
- ・ 履歴書添削・模擬面接実施といった実用的な支援のほかにも適切な知識・情報の提供、学生一人ひとりの適性・能力に見合った職業紹介等、良き相談者として教職員が学生を徹底サポートしています。

### 主な就職先

	工学部	情報デザイン学部	現代社会学部			
広島地区	(株)石崎本店 (株)研創 (株)ジェイ・エム・エス (株)ツルハグループドラッグ&ファーマシー西日本 デルタ工業(株) 日新製鋼(株)呉製鉄所 (株)HIVEC (株)藤三	(株)オガワ JFEスチール(株)西日本製鉄所 (株)中電工 南条装備工業(株) (株)日本製鋼所広島製作所 広島アルミニウム工業(株) (株)フソウ	イケダ(株) (株)サンヨーファーズ 中国木材(株) (株)東洋シート 日建リース(株) (株)ハロース 広島中央農業協同組合 (株)メンテックワールド	(株)オオケン (株)ダイキエンジニアリング (株)テクノクラーツ (株)都市ビルサービス (株)白菱 (株)ビーテック (株)フランス屋	(株)大野石油店 (株)ケーシーエス (株)中国日立 西日本リネンサプライ(株) (社福)似島学園 広島アルミニウム工業(株) ホーコス(株) (株)ユアース	荻野工業(株) (医)好縁会 トラストハウス(株) (株)ニシムラ 二村自動車(株) 広島ガス東部(株) (株)メンテックワールド
関東・北陸	(株)アピスト (株)サンテック WDB工学(株) (株)ノジマ	(株)アルファ (株)総合資格 (株)トラスト・テック	(株)アルトナー (株)エイジエック (株)ダイナム (株)日進	アルファテックス(株) 国際ソフトウェア(株) ナイガイ(株)	(株)東横イン (株)リブ・マックス	
関西・東海	(株)アスパーク ELJソーラーコーポレーション(株) 西日本旅客鉄道(株)		(株)ゲオホールディングス トリオシステムブランド(株)	(株)コスモネット 兵庫西農業協同組合	アイオ(株) (株)木下測量設計	
中国・四国・九州	西条市立西条東中学校 島根県警察本部 (株)鳥取スター電機		(株)インターナカツ 大黒天物産(株)		島根電工(株) 大黒天物産(株) はるやま商事(株)	(株)ジュンテンドー (株)西原商会

### 業種別就職状況



### 地区別就職先



企業と大学・短大の情報交換会

### 企業との情報交換会を開催

2月12日、リーガロイヤルホテル広島において「企業の皆様と本大学並びに本短期大学部との情報交換会」と題し、情報交換会を開催しました。この会は、企業の皆様から求めている人材等について、忌憚のないご意見をより幅広い業界の皆様にお聞きすることを目的とし、前年に引き続き開催いたしました。

本大学教員からは内定をいただいた学生の学内での活動状況などを報告する一方、企業様からは求める人材や来年度の採用計画などをはじめ様々な情報を得ることができました。

参加された企業と参加者の数は、超え昨年178名と27年連続で活発な就職支援活動が実現しました。



# 平成27年度 広島国際学院大学自動車短期大学部進路状況

平成28年3月31日現在

## 進路状況

就職率 100%

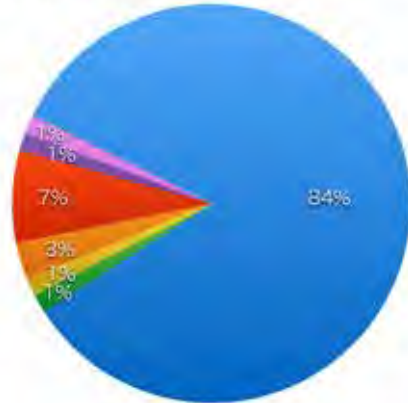
卒業生数	74名
就職決定者数 / 希望者数	67名 / 67名
進学決定者数 / 希望者数	6名 / 6名
進学も就職もしない者	1名

## 地域（県）別就職状況

● 広島県 ● 岡山県 ● 福岡県 ● 兵庫県 ● 東京都  
● 山口県 ● 愛媛県

## 進路状況グラフ

● トヨタ系 ● マツダ系 ● ダイハツ系 ● ホンダ系  
● 日産系 ● 三菱系 ● 大型系 ● コマツ系  
● スズキ系 ● 公務員 ● 外資 ● 一般企業  
● 一般企業 ● 製造業 ● 専攻科 ● その他



# 平成27年度 広島国際学院高等学校進路状況

平成28年3月31日現在

## 進学・就職内定者数

学科	性別	在籍	進 学				就 職					
			大学	短大	専門	未定	県内	県外	公務員	自営	自己	未定
総合学科	男	49	35	2	6	1	3	0	0	1	1	0
	女	71	35	16	13	1	4	0	0	0	2	0
普通科	男	149	97	4	15	27	1	0	2	0	3	0
	女	185	130	17	28	8	1	0	0	0	1	0
合 計		454	297	39	62	37	9	0	2	1	7	0
比率			95.8%				4.2%					

## 大学・短期大学・大学校〈推薦・AO・一般入試〉合格先

	大 学	短期大学
中四国	広島大、岡山大、島根大、山口大、鳴門教育大、県立広島大、広島市立大、尾道市立大、鳥取環境大、下関市立大、山口東京理科大、日本赤十字広島看護大、リハビリテーション音楽大、近畿大、比治山大、広島経済大、広島工業大、広島国際学院大、広島国際大、広島修道大、広島都市学園大、広島文化学園大、広島文教女子大、広島女学院大、安田女子大、福山大、福山平成大、徳山大、岡山理科大、吉備国際大、川崎医療福祉大、山陽学園大、環太平洋大、倉敷芸術科学大	比治山大学短大部、安田女子短大、広島文化学園短大、広島国際学院大学自動車短大部、山陽女子短大、岩国短大
その他	新潟大、千葉大、横浜国立大、大阪教育大、九州工業大、北九州市立大、首都大学東京、酪農学園大、帝京大、津田塾大、山手学院大、東京理科大、高千穂大、専修大、日本大 法政大、拓殖大、城西大、淑徳大、デジタルハリウッド大、浦和和、洗足学園音楽大、山梨学院大、中京大、同志社大、京都造形芸術大、立命館大、佛教大、大谷大、京都橘大 大阪経済大、大阪工業大、大阪体育大、大阪芸術大、大阪樟蔭女子大、関西国際大、関西大、関西外国語大、大阪学院大、梅花女子大、桃山学院大、関西福祉大、長浜バイオ大、関西学院大、姫路獨協大、神戸学院大、神戸女学院大、神戸芸術工科大、神戸国際大、西南学院大、九州栄養福祉大	桐朋学園芸術短大、関西外国語大学短大部 福岡医療短大、精華女子短大
大学校	防衛大学校・水産大学校	

## 専門学校

## 就職

	専門学校	主な就職先
中四国	広島市立看護専門、広島市医師会看護専門、呉共済看護専門、広島工業大学専門、広島情報専門、穴吹デザイン専門、広島FM777専門、広島福祉専門、広島製菓専門、広島ビューティアート専門、代々木アニメーション学院、朝日医療専門、広島高等歯科衛生士専門、トリエイカレッジ 広島医療福祉専門、広島外語専門、広島公務員専門、広島YMCA 専門、広島県理容美容専門、広島情報ビジネス専門、広島デジタルゲーム専門、広島ビジネス専門、広島ソフト＆ハード専門、広島美容専門、広島酔心調理製菓専門、岡山防災看護専門	(株)ワイテック、(株)コパン、(株)エムズ (株)ビバックス、(社)広島常光福祉会、広越(株) トリック・スタッフ・サービス(株)、イズミ・フード・サービス(株) (株)ラランジェ、自衛隊
その他	東京都立板橋看護専門、東京フィルム・映像・俳優専門、ミュージック・アカデミー、トヨタ名古屋自動車大学校、HAL大阪、大阪航空専門、放送芸術学院専門、東洋医療専門、神戸動物環境専門、神戸医療福祉専門、福岡医療専門	

## 第二回「ベンチマーキング活動」を短大で実施



分解前、新型プリウス試乗中

1月25日から上瀬野キャンパスで行われたひろしま産業振興機構様主催の「ベンチマーキング活動」に参加いたしました。

ベンチマーキング活動とは、新車が発売されると、その車の構造、装備、部品などを分解して分析研究を行い、他社の優れた技術に目を向けて自社の製品開発に役立てることをいいます。この活動は、地域の関係者が連携・共同し、研究開発の推進を図り、自動車関連産業の発展に資することを目的に行われています。

本短大は設備等が充実しているため、車両の分解作業を担当しており、昨年度から活動に参加しています。この作業を実施するのは、一級小型自動車整備士を目指している専攻科の学生8名です。今回の対象車両は昨年12月9日に発売されたばかりの「新型プリウス」です。人気の高い車種なので、年度内に納車ができるか心配な状態で準備を進めてきましたが、無事に納車され、しかも事前に試乗することもでき、



エンジン&ハイブリット用トランスアクスル取外し

学生もたいへん喜んでいました。ひろしま産業振興機構様には感謝いたします。事前の練習では、短大の実習車である旧型のプリウスを使用しました。そのため新型プリウスに新しく装備されている部品や、小型化されている部品などを旧型と比較することもでき、とても多くの発見をすることができました。さて、肝心の作業については昨年度の経験も活かし、スムーズに分解作業を進めることができました。予定通り2日間で「粗分解（車両に装備されている全ての部品の取り外し作業）」も完了することができました。



分解終了後の車両

教員として、学生の作業の正確さ、スピードにも成長を見ることができましたが、何よりも凄いと感じたのは、ベンチマーキング活動の終了後のことです。なんと学生たちは放課後残り、来年度の活動がよりスムーズに進むように、いくつかの改善案を検討する話し合いを自主的にしていたのです。この活動を通して技術的にも人間的にも成長を感じることができ、今後もこの活動を続けていこうというパワーを学生からもらったような気がします。本活動に参加した学生たちは、この4月からそれぞれ希望していた自動車ディーラーに入社します。

彼らなら企業でも頑張ってくれると思います。



室内分解作業中

		5月	6月	7月	8月	9月	10月
今後の主な行事予定 (赤字は公開行事です)	大学	14 学長杯スポーツ大会 27 第1回学生総会	12 球技大会 25 ミニオープンキャンパス 26 学外展	30 オープンキャンパス	2 前期末試験(～5) 6 夏季休業(～9/16) 20 オープンキャンパス	3 国学大運動会 24 ミニオープンキャンパス	8 第12回デッサン教室 22 第49回高城祭(～23)
	短大		4 水無月祭 4 ミニオープンキャンパス 12 オープンキャンパス	2 ミニオープンキャンパス 16 オープンキャンパス	1 前期末試験(～3) 4 夏季休業(～9/11) 7 体験入学 21 オープンキャンパス	3 ミニオープンキャンパス 17 オープンキャンパス	1 ミニオープンキャンパス 15 ミニオープンキャンパス 29 保護者懇談会
	高校	16 【1年】中間考査(～19) 20 【2・3年】中間考査(～24) 20 新入生集団合宿(～24)	7 体育祭 23 芸術鑑賞会	4 期末考査(～8) 16 クラスマッチ(～19) 20 終業式		31 始業式	18 オープンスクール(～19)

- この広報誌及び第三者認証評価結果はホームページでご覧になれます。 <http://www.hkg.ac.jp>
- 高校生以上の方に図書館を開放しています。詳細は図書館までお問い合わせください。

発行/学校法人広島国際学院 法人本部

編集協力/サイラクシミ(エディトリアルサポート学生)

住所: 〒739-0321 広島市安芸区中野六丁目20-1 電話: (082) 820-2345